

今月のインスタギャラリー

『#love mitoyo』 vol.4

▶問い合わせ
産業政策課 ☎73-3012

Instagramへ投稿された「ステキな三豊」情報をご紹介します。



u_asa さん
(高瀬産直市)
すいか置き場
今季節は麻地区にある
ふたつの産直市に
新鮮でなくて美味しい
すいか・桃・ブドウ
が並んでいます



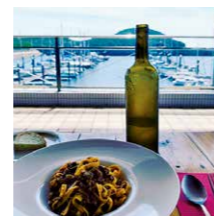
daidd3d さん
(志保山)
志保山山頂から仁尾町、
紫雲山方面を。眼下が
雲でかすんでいて、普段
とはまた違った幻想的な
様子でした



harashimobase_agri さん
(高瀬町上麻)
園地で寝っ転がる
見える景色
1年間の結晶はすぐそこに
ありました

おすすめグルメ

▶#アートの島栗島
#期間限定オープン
#海が似合うパフェ



◀#絶景海ランチ
#ワイン
#仁尾マリーナ

■お気に入りのスポット、グルメなど「あなたの三豊」情報を、Instagramに「#lovemitoyo」をつけて投稿してください。

【投稿方法】

- Instagramを利用している人は、
- ①アカウント「mitoyo.honma.mon」をフォロー(※QRコードを読みとってください)
 - ②「#lovemitoyo」と場所、コメントをつけて投稿



▲「Instagram」は
こちらから



▲「ブログ」は
こちらから

■みとよの「新スポット」「飲食店」「イベント」などの最新情報は「ラジオ」「ブログ」で配信しています！
▶「週刊みとよ ほんまもんRadio!」(Weekend shuttle内) FM香川78.6MH 毎月第1・2・4金曜日14:00～
※スマホとPCで使えるアプリ「radiko」で、放送から1週間無料でいつでも視聴できます。

あなたのとおきの三豊情報をお待ちしています!!



健康コラム Vol.32
ステイホーム生活から考える子どもたちが身体を動かす大切さ

ステイホーム生活が長引くことで、子どもたちの生活にも大きな変化が生じてきました。外出自粛によって遊ぶ場所がなくなり、運動する機会も減っている中で、子どもたちの体力低下も心配されています。

また、部活動が休みにになり、試合や大会も中止になったことで、辛い思いをしている子どもたちも多いと思います。コロナ禍の新しい生活様式が、長期的に人々の体力に何らかの影響を及ぼすことが予想されます。しかし、このような状況でも子どもたちは日々成長しています。

子どもたちは、体育の授業以外にあまり運動をできなかったことから、体を思いきり動かしたいと望んでいるのではないのでしょうか。また大人も、体を動かすことは、子どもの成長にとって重要なことであることを実感したと思います。

子どもたちの運動遊び経験が「運動をする子」と「運動をあまりしない子」に二極化している現在において、近い将来、私たちはどのような体験や環境を子どもたちに用意すべきでしょうか。

心身の健康づくりのための運動や体力づくりへの組織的な仕掛けや取り組みが期待されます。

四国学院大学教授
緑ヶ丘総合運動公園
センター長 清水 幸一さん

感染対策実施中 コミュニティバスにゆ〜す 9

▶問い合わせ 交通政策課 ☎73-3055

コミュニティバス全車両に抗ウイルスコーティングを施工

新型コロナウイルス感染拡大の影響で人々の外出機会が減少し、コミュニティバスの利用者も減少傾向にあります。しかし、日常生活を送る中では、買い物や通院、通学など欠かせない外出もあります。

市では、皆さんが安心してコミュニティバスを利用できるよう、予備車両5台を含む、全車両19台に抗ウイルスコーティングを施工しました。

ただし、コーティング剤の施工によって感染防止などの安全が完全に保障されるものではありません。コミュニティバスを利用するときは、ご自身でも手の消毒やマスクの着用などを徹底し、誰もが安心して利用できる環境づくりにご協力ください。



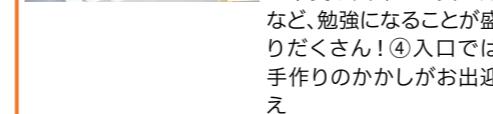
このほかにも
運転席・客席間の飛沫防止
フィルムの設置、車内の換気、
消毒などの感染対策を行って
います



▲施工済ステッカー



▲コーティング剤を車内の隅々まで噴霧しました



ほっとする雰囲気の魅力 アットホームな産直市

財田町にある三ノ瀬市は、地域の人々が立ち上げたアットホームな雰囲気の産直市です。お店では、朝採れの野菜や果物だけではなく、お肉や豆腐、お菓子や日用雑貨など、生活必需品も販売しています。

「毎日農家さんが採れたての野菜や果物を届けてくれ、それを良心的な値段で購入できます。ここは地域の人の憩いの場にもなっているんですよ」と話してくれたのは、三ノ瀬市の岡崎保子さん。お店には、地元のおいしい食材を求めて1日に40～50人のお客さんが来店します。野菜を選んだり、お店の人におすすめの食べ方を聞いたり、訪れる人は思い思いに買い物を楽しんでいます。

「今は新米の時期なので、財田町のコシヒカリがおススメです。産地直送なので手頃な価格で買えますよ」と話す岡崎さん。

三ノ瀬市には、現在約130人の生産者が登録し、季節ごとに旬の農作物を届けてくれています。棚に並ぶ野菜や果物は、季節を味わえるのが産直の魅力です。「今日はどんな商品に出会えるかな」と楽しみに行ってみたいはかがでしようか。



▲(左から) 三ノ瀬市のおかざきやすこ かわさきみちこ 岡崎保子さんと川崎道子さん

▶問い合わせ 農林水産課 ☎73-3040
三ノ瀬市 ☎67-3739
(営業時間：午前7時～午後6時、月曜定休)

産直歩き

Vol. 4